



令和4年8月1日

No. 451

＜第65回定時社員総会が開催される＞

令和4年6月28日（火）、本会の第65回定時社員総会が東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において開催されました。

第65回定時社員総会は午後1時から、出席正会員 59名、委任状 41,348名、議決権合計 41,407名（総会成立定足数 29,005名）のもとに開催され、はじめに大石久和会長の挨拶があり、続いてご来賓の加藤雅啓氏（国土交通省大臣官房技術総括審議官）、田中郁也氏（農林水産省水産庁漁港漁場整備部長）からご祝辞をいただきました。

続いて、本会の大石久和会長を議長に選出して下記議題の審議に入り、原案のとおり承認されました。

なお、「役員選任の件」については、大石議長から選任方法について会員に諮ったところ「本部一任」となり、提出された本部案が承認されたものです。

○令和3年度決算の承認の件

関連報告事項 令和3年度事業報告の報告の件

令和4年度事業計画および予算の報告の件

○役員選任の件

審議終了後、後藤敏行副会長の閉会の挨拶をもって、第65回定時社員総会は終了しました。

なお、承認された新役員は以下のとおりです。

○新役員

役 職	氏 名	備 考
会 長	大 石 久 和	元国土交通省技監
副 会 長	後 藤 敏 行	元国土交通省大臣官房技術調査官
〃	小 川 富 由	元国土技術政策総合研究所副所長
〃	梅 山 和 成	元国土交通省中部地方整備局長
〃	野 崎 慎 一	東京都交通局技監
理 事	西 植 博	元国土交通省中国地方整備局副局長
〃	安 田 吾 郎	元国土交通省東北地方整備局副局長
〃	藤 井 元 生	元国土交通省九州地方整備局副局長
〃	高 吉 晋 吾	元農林水産省水産庁漁港漁場整備部長

〃	<u>関 俊 一</u>	北海道建設部技監
〃	<u>小野寺 淳</u>	岩手県県土整備部下水環境課総括課長
〃	<u>小 島 一 男</u>	山梨県県土整備部理事
〃	<u>山 口 正 勝</u>	相模原市都市建設局長
〃	<u>古 谷 靖</u>	我孫子市水道事業管理者
〃	<u>口 田 光 也</u>	石川県技監(土木担当)
〃	<u>上 村 告</u>	三重県県土整備部副部長
〃	<u>渡 邊 裕 幸</u>	京都府建設交通部理事(指導検査課長事務取扱)
〃	<u>妹 尾 圭 人</u>	島根県土木部次長
〃	<u>岩 崎 哲 史</u>	高知県土木部副部長
〃	<u>伊 東 貢</u>	熊本県土木部土木技術管理課長
〃	<u>宮 野 敏 雄</u>	東日本高速道路(株)建設事業本部建設事業統括課長
専務理事	泊 宏	元国土交通省関東地方整備局長
常務理事	<u>秋 山 栄 一</u>	元埼玉県県土整備部部付(土地開発公社理事長兼道路公社理事長)
監 事	加 藤 利 弘	元国土交通省港湾局海岸・防災課災害対策室長
〃	<u>新 谷 康 之</u>	東京都下水道局建設部長

理事23名、監事 2名
 _____部は新任役員



【主催者挨拶を行う大石会長】



【総会の様子】

＜谷口賞等の個人表彰や令和3年度全建賞の表彰が行われる＞

表彰式は、総会に先立ち令和4年6月28日（火）午前10時に開式され、谷口賞・谷口功労賞・小沢賞の各受賞者と、全建功労賞及び長期会員表彰の代表受賞者合わせて44名、全建の未来を育む功労協会賞5協会、さらに全建賞の実施機関の代表者77名と賛助会員の代表者44名が出席し実施されました。

最初に大石会長の挨拶があり、続いて表彰が行われました。

表彰は、谷口賞、谷口功労賞、小沢賞、全建功労賞、長期会員、全建の未来を育む功労協会賞、全建賞の順で行われ、大石会長から賞状が授与されました。

授賞終了後、全受賞者を代表して谷口功労賞受賞者の野崎智文氏からの謝辞があり、表彰式は終了しました。



【大石会長から谷口功労賞の授与】



【全授賞者代表の野崎氏からの謝辞】

＜研修委員会の開催＞

—研修委員会—

令和4年7月8日（金）、見坂茂範委員長（国土交通省大臣官房技術調査課長）をはじめ委員7名の出席のもと、第273回研修委員会がWEB会議で開催されました。

委員会では下記の議事が審議され、了承されました。

○令和4年度建設技術講習会実施計画（案）について

- ・第686回建設技術講習会（仙台市）

「Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用」

- ・第687回建設技術講習会（松山市）

「工事積算（土木・建築）の動向とi-Constructionの取り組み」

- ・第688回建設技術講習会（新潟市）

「道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題」

- ・第689回建設技術講習会（佐賀市）

「災害に強い安全な国土づくり」

○令和5年度建設技術講習会年間計画（案）について

＜実地研修会「東日本大震災の復興と現状～

旧北上川築堤事業と3.11震災伝承への取り組み～」を開催＞

実地研修会「東日本大震災の復興と現状」が、令和4年7月14日（木）～15日（金）の日程で、43名の参加を得て宮城県仙台市他で開催されました。

この度の実地研修会は、大型バス乗車定員49名のところ22名の利用とし、新型コロナウイルス感染症における必要な対策を講じた上で実施しました。

初日は、翌日の現地視察の事前学習のため、国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所の石田和也所長、東北国営公園事務所の澤田大介所長、（一財）3.11伝承ロード推進機構の原田吉信業務執行理事を講師に迎え、聴講を行いました。

2日目の現地視察は、石巻南浜津波復興祈念公園、みやぎ東日本大震災津波伝承館、旧北上川河口部の復旧復興とかかわまちづくり事業、石巻市震災遺構大川小学校、南三陸町震災復興祈念公園を視察しました。石巻市震災遺構大川小学校では、語り部の震災直後の貴重な体験談を聴きながら、施設見学を行いました。



みやぎ東日本大震災津波伝承館視察の様子



石巻市震災遺構大川小学校視察の様子

＜全会員対象 全建会員安心サポート制度について＞

全建では、全会員を対象とする「全建会員安心サポート制度」を運用しています。サポートの内容は次のとおりです。

①建設系公務員求償補償サポート

国家賠償法によって公務員個人が求償されたときの損害賠償金を、50万円を限度に補償します。なお、幅広いリスクを対象に、より手厚く安心な補償上乘せ（最大1億円）ができる建設系公務員賠償責任保険への加入をおすすめしています。

②弁護士・医師等電話相談サポート

法律・税務・社会保険・医療・介護について、専門の弁護士・医師等による電話相談サポートがご利用いただけます。

全建では、会員が安心して職務を遂行することができるよう、会員サービスの充実に努めてまいります。詳細については、全建ホームページ（会員サービス）をご参照ください。

【問い合わせ先】 会員課 戸村 小沢

TEL：03-3585-4546 E-mail：kaiin@zenken.com

**＜「訴えられたら」どうしますか!? インフラの管理瑕疵で… 入札契約で…
2022 年度建設系公務員賠償責任保険 建設系機構・公社等職員賠償責任保険 中途加入受付中!!＞**

安心して公務に従事していただくため、保険未加入の会員の皆様は、是非この機会に本保険の加入をご検討ください。

例えば、下記のような事項に起因して、あなたが訴えられる可能性があります。

- 道路、河川等の設置又は管理瑕疵に起因した災害において損害が生じた
(パトロールの見落とし、施設の老朽化、点検不足等)
- 工事中の事故に対する現場監督官の責務、工事検査の評点の不服
- 入札契約関連（積算ミスや技術審査への不服等に起因する入札業者からの訴訟）
- 許認可関連や情報公開請求（手続きの不備や遅れ、土地の境界争い等）
- 地元対応（言った、言わないなど、説明不足に起因した施工に対するトラブル）

本保険が好評な理由

- 建設系公務員等のリスクに対応した新しい保険
- 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償
- 退職後も5年間の補償が続く
- インターネットでも加入・更新の手続きができる

2022年度保険には、令和4年8月1日からの通年契約に、建設系公務員賠償責任保険には4,056名、機構・公社等職員賠償責任保険には264名の会員の皆様に加入していただきました。

本保険は、各年の8月1日からの1年間を保険期間としておりますが、通年契約ではなくても「いつでも中途加入できます」。

2021年度保険でも建設系公務員賠償責任保険には918名の方が中途加入し、令和4年5月末時点は4,747名の方が加入しています。機構・公社等職員賠償責任保険には40名の方が中途加入し、令和4年5月末時点は313名の方が加入しています。

- ①本保険は、正会員の皆様であればいつでも加入でき、中途加入の場合の保険料は月割り計算となります。
- ②2022年度保険パンフレット及び申込書（払込取扱票）は月刊「建設」2022年6月号に同封致しました。追加送付のご希望がありましたら、必要部数を下記取扱代理店までご連絡をください。（パンフレットは、全建ホームページからご覧いただくこともできます）
- ③加入（更新）手続きがインターネットでも行えます。
- ④各種の特約がついておりますので、保険の内容や加入手続きについての詳細は、全建ホームページ（会員サービス）をご参照ください。

【問い合わせ先】

- 本保険内容に関する問い合わせ・ご相談・パンフレット（払込取扱票）の入手
取扱代理店：建栄サービス株式会社 木村・渡辺
(受付時間) 土・日・祝日を除く 9:15～17:00
TEL: 03-3291-6340 E-mail: kb-madoguchj@kenei-s.co.jp
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-1 山城ビル2階

引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社
(担当) 公務第一部 公務第一課 安斉・養和
(受付時間) 土・日・祝日を除く 9:00～17:00
TEL: 03-3515-4122 〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

- 団体保険契約担当（会員に関する問い合わせ）
会員課 戸村 小沢
TEL: 03-3585-4546 E-mail: kaiin@zenken.com

＜ 全建CPD（継続教育）の利用について ＞

全建は建設系CPD協議会に加盟しています。このため、全建のCPDに利用者登録し、認定された単位は、他の建設系CPD協議会加盟団体での認定と同様の扱いとなります（一部を除く）。

他のCPD加盟団体の講演会等に参加する機会の少ない地域においても、全建地方協会等の講演会に参加し全建CPDを取得すれば、他の建設系CPD協議会加盟団体での認定と同様の扱いを受けることが可能です。

全建会員は、全建CPD制度へ無料で利用者登録できますので、是非ご利用ください。

全建CPD制度の詳細につきましては、下記の全建ホームページをご覧ください。

（ http://www.zenken.com/ZK_CPD/CPD.html ）

【問い合わせ先】 事業課 高野 春日

TEL：03-3585-4546 E-mail：zkcpd@zenken.com

＜「伝承プロジェクト」（出前講座）の活用について＞

「伝承プロジェクト」は技術の伝承を目的に、貴重な体験や取組をした官公庁等技術者が、他の地方協会で行われる出前講座の講師となり技術等を伝え、また地方協会間を結んでいく事業です。

出前講座 講演分野「東日本大震災」

「平成28年熊本地震」

「平成30年7月豪雨災害」

「令和元年度東日本台風」

派遣協会 岩手県、宮城県、仙台市、福島県、広島県、熊本県

講師派遣費用（2名／1回まで）の全額、実施運営費の一部（上限4万円）は、本会が負担します。貴重な体験や新しい取組みの伝承にぜひご活用ください。

【問い合わせ先】 事業課 下野 高野 杉戸

TEL：03-3585-4546 E-mail：kensyu@zenken.com

＜ 全建本部と地方協会・地区連合会との情報交換等について ＞

全建本部では、地方協会・地区連合会との情報交換を密にし、より一層皆様の声を反映した事業を実施し、更なる全建活動の活性化を図ってまいりたいと考えています。

総会等の開催をご案内いただければ、全国的な動向について情報提供するとともに、会員の皆様のご意見等を伺う機会として、可能な限り出席させていただきます。

つきましては、総会等の開催の機会がございましたら、全建本部までご連絡いただきますようお願いいたします。なお、交通費等について地方協会のご負担をいただくことはありません。

【問い合わせ先】 総務課 木下

TEL：03-3585-4546 E-mail：soumu@zenken.com

＜「基礎から学ぶインフラ講座」－第2版－ 販売中＞

全建では、月刊「建設」に連載中の「基礎から学ぶインフラ講座」をとりまとめて、書籍として出版しておりますが、現在、第2版を出版しております。

本書は河川、道路、港湾、都市公園等の各事業について、管理区分、事業制度、技術的基準などを、出典を含めて基礎から学ぶことができます。また、分野横断的なものとして入札契約制度の概要や趣旨についても掲載しています。

第2版では、掲載する事業数が約2倍となり、より充実した内容となっております。また、初版に掲載されていた事業についても、最新の統計値や最新の制度改正等を反映するよう、加筆・更新しています。

○第2版の概要

- ・体 裁 : A-4判、111ページ
- ・定 価 : 1,980円 税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木 小沢

TEL : 03-3585-4546 E-mail : kikaku@zenken.com

＜「令和4年 災害手帳」販売中＞

本会出版の「令和4年災害手帳」は、災害復旧事業に関する国庫負担申請の事務手続きや、関連して必要となる技術的な留意点について解説したハンドブックです。初めて災害復旧事業に携わる方々にも容易に理解できるよう、用語の解説や索引など、わかりやすい編集になっています。

○令和4年版の概要

- ・体 裁 : A-6判、759ページ
- ・定 価 : 2,420円 税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木 小沢

TEL : 03-3585-4546 E-mail : kikaku@zenken.com

＜「公共土木施設の災害申請工法のポイント」－平成27年改訂版－ 販売中＞

本書は「災害手帳」の参考図書として、国庫負担申請にあたってのその範囲の考え方や、復旧工法等の基本的なポイントを、主として技術的観点から解説しています。

＜平成27年版の主な改訂点＞

- ・美しい山河を守る災害復旧基本方針、道路土工指針等最新の技術基準類の内容を反映した改訂
- ・下水道の災害復旧の考え方を新規追加
- ・その他の改訂（河川の最大洗掘深把握と根入れの考え方、橋梁設計荷重の追加等）

○平成27年改訂版の概要

- ・体 裁 : A-5判、カラー、304ページ
- ・定 価 : 2,954円（会員価格：2,363円） 税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木 小沢

TEL : 03-3585-4546 E-mail : kikaku@zenken.com

＜「公共土木施設災害復旧の災害査定添付写真の撮り方」－平成26年改訂版－ 販売中＞

災害復旧事業の申請に必ず必要となる被災状況等の添付写真について、写真等の事例（工種別）他、留意事項等を取りまとめています。

＜平成26年版の主な改訂点＞

- ・平成25年8月事務連絡「災害査定添付写真について」等に基づき全面改訂
- ・全景写真、横断写真、写真等の事例（工種別）について、平成25年の簡素化事例写真を掲載

○平成26年改訂版の概要

- ・体 裁 ： A-5判、カラー、73ページ
- ・定 価 ： 2,343円 （会員価格：1,874円） 税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木 小沢

TEL：03-3585-4546 E-mail：kikaku@zenken.com

＜「技術者のための災害復旧問答集」－改訂版－ 販売中＞

公共土木施設に係わる災害復旧事業については、基本法となる「公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法」をはじめ、これに基づく政令や通達が定められており、その内容は多岐にわたっています。

「技術者のための災害復旧問答集」では、平成25年に10年ぶりの全面的な見直しを行いました。初めて災害復旧事業に携わる公務員や関係技術者を対象に、事例等を「Q & A」の形式で平易に解説してあります。災害復旧事業のわかりやすいテキストという位置づけで研修等の教材として、また、実務に際しての参考書として活用していただけます。

○改訂版の概要

- ・体 裁 ： A-5判、254ページ
- ・定 価 ： 2,640円 （会員価格：2,090円） 税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】 企画課 露木 小沢

TEL：03-3585-4546 E-mail：kikaku@zenken.com

＜技術図書の4割引サービスを実施しています＞

出版各社の協力を得て、技術図書を4割引で斡旋しています。令和4年度の割引図書リストを更新しました。資格試験に役立つ図書の他、様々なジャンルの図書を取り揃えておりますので、ぜひご利用ください。

詳細については、全建ホームページ（会員サービス）又は月刊「建設」5月号をご参照ください。

【問い合わせ先】 会員課 小沢

TEL：03-3585-4546 E-mail：kaiin@zenken.com

＜ 全建メールマガジン登録随時受付中 ＞

全建では、建設関係施策及び関連する情報等を月1回登録者の皆様に無料で発信しています。毎月ホットな情報を満載し、魅力ある情報を配信する全建メールマガジンです。

どなたでもご利用いただけます。是非ご登録ください！全建メールマガジン登録及び解除は、全建HPの全建メールマガジンのページで、直接ご自身で行なってください。

全建メールマガジンのページはこちらです https://www.zenken.com/zk_mm/zk_mm.html

最新号のメールマガジンはこちらです http://www.zenken.com/zk_mm/back_no/back_no.html

令和4年7月の動き

○ 7月 1日 (金)	機関誌 月刊「建設」7月号発行 特集：インフラの魅力が伝わる広報へ ～地域の成功例に学ぶ～ 第2特集：グリーン社会の実現	発行部数59,000部
○ 7月 8日 (金)	研修委員会	於：WEB会議
○ 7月 14日 (木) ～ 15日 (金)	実地研修会 東日本大震災の復興と現状 ～旧北上川築堤事業と3.11震災伝承への取り組み～	於：仙台市 他
○ 7月 26日 (火)	機関誌編集委員会	於：WEB会議

令和4年8月の予定

○ 8月 1日 (月)	機関誌 月刊「建設」8月号発行 特集：令和3年度表彰	発行部数59,000部
○ 8月 2日 (火)	公共工事品質確保技術者資格認定委員会	於：WEB会議
○ 8月 8日 (月) ～ 9日 (火)	実地研修会 立山カルデラ 【中止】	
○ 8月 18日 (木) ～ 19日 (金)	実地研修会 令和2年7月豪雨の災害復旧と南九州西回り自動車道の建設	於：熊本県八代市 他
○ 8月 24日 (水) ～ 26日 (金)	第683回建設技術講習会 これからの社会インフラの維持管理・更新	於：秋田県秋田市